

平成30年度はこんな事業を実施します

庁舎・公民館の整備

庁舎移転事業【継続】 3,290万円
(平成29年度からの繰越分2,830万円を含む)

新庁舎整備基本計画に基づき、基本設計業務を行います。
また、新庁舎に導入する免震構造に必要な性能を確保するため、模擬地震波を活用した構造の検討を行います。

子どもがいきいきと育つまちづくり

保育所整備支援事業【新規】 5,100万円

待機児童解消に向けた定員確保のため、新設による保育所整備に対し、補助を行います。

かいた版ネウボラ事業【拡充】 691万円

新たに、お父さんのための教室や家庭教育支援事業を行います。詳細は14ページへ。

健康で人にやさしい安心のまちづくり

特定健康診査等事業【継続】 2,421万円

多くの人に健診を受けていただき、病気の早期発見、医療費の抑制につなげるため、特定健康診査の自己負担額を無料にします。(国保被保険者が対象)

介護予防・日常生活支援総合事業【拡充】 6,926万円

訪問サービスの生活援助事業を拡充します。
また、認知症カフェを運営される団体に対して、安定的な運営ができるよう、新たに支援を行います。

(仮称)海田公民館・(仮称)織田幹雄記念館整備事業【継続】 8億5,219万円
(平成30年度と平成31年度の2カ年の事業費のうち、平成30年度の事業費)

施設の老朽化に対応し、地域活動及び生涯学習、まちづくりなどの拠点となる(仮称)海田公民館を整備します。
また、海田町出身で、日本人初のオリンピック金メダリストである織田幹雄さんを顕彰する記念館を整備します。



※写真は現時点でのイメージパースです。

中学校ICT活用事業・中学校改修事業【新規】 632万円

海田西中学校をモデル校とし、生徒用のタブレットを整備、無線LANアクセスポイントの設置を行い、新学習指導要領のもとでの教育活動に対応した学習環境を整備します。

環境にやさしく快適なまちづくり

町営住宅大規模改修事業【継続】 1,000万円

海田町公営住宅等長寿命化計画に基づき、町営第2蟹原住宅改修工事の実施設計を行います。

海田総合公園整備事業【継続】 5,028万円
(平成29年度からの繰越分3,025万円を含む)

多世代が楽しめる新たなスポーツ・レクリエーションの拠点として整備するため、海田総合公園第2期整備に係る基本計画を策定し、基本設計に取り組むとともに、整備区域にあたる用地買収などを行います。

誰もが尊重され活躍するまちづくり (地域文化の継承と創造)

旧千葉家住宅納屋および角屋改修事業【新規】 701万円

文化財の保存と活用を図りながら、観光の視点も入れた旧千葉家住宅の納屋および角屋の改修に向けた設計を行います。

都市基盤を整え生かすまちづくり

海田市駅南口地区地区計画事業【継続】 7,432万円

海田市駅南口地区の地区計画事業を推進するため、用地買収および移転補償を行います。

海田市駅自転車等駐車場整備事業【新規】 5,242万円

海田市駅自転車等駐車場の整備を行い、利用者の安全確保と快適性の向上を図ります。



広島市東部地区連続立体交差事業【継続】 3,763万円

鉄道や関連街路の設計に対する県負担金を支払います。

町道2号線(畝二丁目地内)歩道改修事業【継続】 2,600万円

畝二丁目地内の歩道改修工事を行います。

町道2号線(瀬野川西踏切)整備事業【継続】 2,000万円

中店地内の用地買収などを行います。

参加と連携によるまちづくり

観光振興事業(観光振興アクションプラン作成)【新規】 512万円

海田町の観光をより活性化し、観光交流人口の増をめざすため、(仮称)海田公民館や(仮称)織田幹雄記念館を整備する旧千葉家住宅周辺や、海田総合公園、市街地の中で豊かな自然が感じられる瀬野川の魅力資源を活かしながら、観光振興に取り組む具体的な行動プランを策定します。

空家等対策計画策定事業【新規】 433万円

顕在化してきた空き家問題について対応するため、空家等対策計画を策定します。

**地域防災計画策定事業
(土砂災害ハザードマップ作成)【継続】 687万円**

土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定が行われた海田東小学校校区について、土砂災害のおそれのある区域を周知し、警戒避難体制を整備するため、土砂災害ハザードマップを作成します。

中店小学校線道路改良事業【継続】 2億1,121万円

月見町および南本町地内の道路改良工事および照明設備設置工事等を行います。



町道6号線バイパス整備事業【継続】 1,662万円

三迫三丁目地内の用地買収などを行います。